



は せ がわ ただし
長谷川 正

しみん こえ たいせつ かい
市民の声を大切にする会

(通称) グリーンロードの路面整備を

問 (通称) グリーンロードは、白山町二本木の国道165号交差点から、芸濃町椋本の県道亀山白山線までを結ぶ、津市の重要な幹線道路である。

完成時には、きれいで走りやすかった路面も、所々ひび割れや轍ができていて、危険である。

「津市舗装維持管理計画」が策定されているが、道路の利用者の安全安心のためにも、早急に路面整備が必要と考えるが。

答 (通称) グリーンロードについては、平成22年度に路面のひび割れ等の状況を把握するための調査を行い、全舗装面積13万6,481平方メートルのうち、6万620平方メートルについて補修が必要と判断した。

舗装の補修については、国の交付金を活用し、平成25年度から同計画に基づき実施しており、平成28年度末で1万8,192平方メートルが完了している。

現計画においては、補修を必要としない舗装が約7万6,000平方メートルあるが、計画策定から4年、調査からは7年経過しており、路面状況も変化していることから、平成29年度に再度調査を実施して新たな計画を策定する。今後も国の交付金を活用しながら、新たな計画に基づいて維持管理に努めていく。

●その他の質疑・質問●

○他の市町村の見本となるような立派な公契約条例の制定を
○死亡獣等焼却処理場の地元からの要望については、可能な限り対応を

○職員が死亡した場合、遺族には心のこもった温かい対応を
○特別支援学級の1学級当たりの児童生徒数を、できる限り、さらに減らして、特別支援教育の充実を など



▲下請け業者や労働者が待ち望んでいる津市公契約条例



か とう み え こ
加藤 美江子

こうめいとう きいんだん
公明党議員団

障がい者と高齢者が共生できる仕組みづくり

問 障がいのある方の意見から見えてきたものがある。

例えば「ふれあい・いきいきサロン」などに障がいのある方たちは行きづらく、声をかけてくれる方もいないとあきらめてしまうのが現状とのことである。

誰もが置き去りにされない、障がい者と高齢者が共生できる社会の構築をどのようにしていくのか。

答 地域で生活している高齢者や障がい者、子育て中の親子などが気軽に集まり、世代を超えた交流を通して、生きがいや仲間づくりの輪を広げ、閉じこもりや孤立を防ぐことを目的に、ふれあい・いきいきサロン事業に取り組んでいる。

地域住民同士が交流することで、地域での見守りや支え合いにつながり、それが安心して暮らし続けていくことができる地域づくりになると考えている。

また、地域で声をかけ合い、誘い合わせながら対応していただけることが、本当に望むべきサロンの在り方であるため、移動手段の確保も含めた対応について、サロンリーダーや社会福祉協議会に対し働きかけていく。

●その他の質疑・質問●

○交通事故防止について
○女性の視点の防災対策は
●避難所運営マニュアル作成は
●家庭での防災備蓄について

○福祉政策について
●質の高い介護サービス事業者への報奨金の支給を
●放課後デイサービスの充実を
○住民主体の地域づくりを
○長期休暇中の子どもの居場所について など



▲全ての人が生き生きと暮らせる共生社会へ